

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

MENU

SEARCH

INDEX

1/1



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 05227203

(43)Date of publication of application: 03.09.1993

(51)Int.CI.

H04L 12/54
H04L 12/58
G06F 13/00

(21)Application number: 04024099

(71)Applicant:

NIPPON TELEGR & TELEPH CORP <NTT>

(22)Date of filing: 10.02.1992

(72)Inventor:

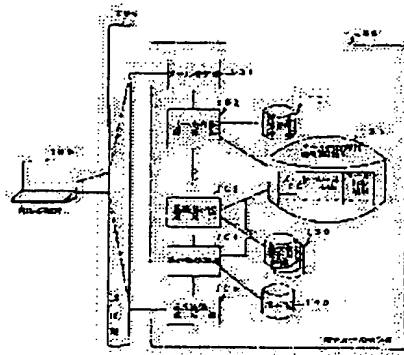
KAWAI ATSUO
SAKAMA YASUO
MATSUO HIROSHI
TATENO KOJI

(54) AUTOMATIC SELECTION SERVICE SYSTEM FOR OPTIMUM BULLETIN BOARD

(57)Abstract:

PURPOSE: To record automatically a transmission mail from a user to an optimum bulletin board in the bulletin board service realized with the electronic mail system.

CONSTITUTION: A mail reception section 101 of an electronic mail center 100 receives a transmission mail from a user terminal equipment 300, a mail content analysis section 102 analyzes the mail and stores the mail to a mail content analysis result storage section 120. An optimum bulletin board selection section 103 uses a dictionary 130 to select an optimum bulletin board based on the result of mail analysis and a bulletin board registration section 104 registers the mail to an optimum bulletin board 140 based on the said result of selection. A selection result transmission section 105 informs a name of the selected bulletin board to a user terminal equipment 300.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998 Japanese Patent Office

[MENU](#)

[SEARCH](#)

[INDEX](#)

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-227203

(43)公開日 平成5年(1993)9月3日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

H 0 4 L 12/54

12/58

G 0 6 F 13/00

3 5 1 G 7368-5B

8529-5K

H 0 4 L 11/ 20

1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数1(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平4-24099

(22)出願日 平成4年(1992)2月10日

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

(72)発明者 河合 敦夫

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(72)発明者 坂間 保雄

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(72)発明者 松尾 比呂志

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(74)代理人 弁理士 鈴木 誠

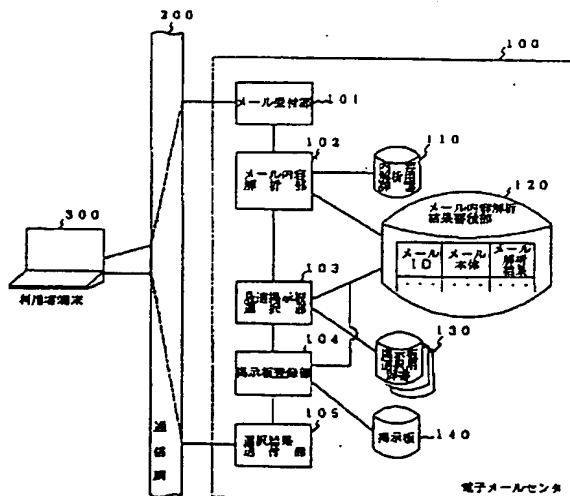
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 最適掲示板自動選択サービス方式

(57)【要約】

【目的】 電子メールシステムで実現される電子掲示板サービスにおいて、利用者からの送信メールを最適掲示板へ自動的に掲載する。

【構成】 電子メールセンタ100では、利用者端末300からの送信メールをメール受付部101が受け、メール内容解析部102で解析し、メール内容解析結果蓄積部120に蓄積する。最適掲示板選択部103は、このメール解析結果をもとに、辞書130を用いて最適な掲示板を選択し、掲示板登録部104は、該選択結果にもとづいてメールを最適な掲示板140に登録する。選択結果送付部105は、選択された掲示板の掲示板名を利用者端末300へ通知する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子メールセンタと該電子メールセンタに通信網で接続されている複数の利用者端末とからなる電子メールシステムにおいて、

電子メールセンタは、利用者からの送信メールを受け付ける手段と、該受け付けたメールの内容を解析し、必要とする情報を抽出してメール内容解析結果蓄積部に格納する手段と、メール内容解析結果をもとに最適な掲示板を選択し、該選択された掲示板へメールを登録する手段と、該選択された掲示板の掲示板名を利用者へ通知する手段とを具備し、

利用者が掲示板に掲載するメールを電子メールセンタに送信すれば、電子メールセンタが該メールを最適な掲示板へ自動的に掲載することを特徴とする最適掲示板自動選択サービス方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、コンピュータネットワーク上で実現される電子メールシステムを利用した電子掲示板サービスにおける最適掲示板自動選択サービス方式に関するものである。ここで、電子掲示板サービスとは、電子メールシステムを利用している不特定の会員に向けた案内、通知、要請等のメッセージを掲示し、会員は掲示された情報の中から、見たい記事を選択して受信を行うサービスをいう。

【0002】

【従来の技術】 近年、電子メールシステムを利用した電子掲示板サービスにおいて、掲示する記事の数が増えるにしたがって、掲示板の細分化が進んできている。このため、新しい記事を登録する際に、掲示板を選択する必要が生じている。従来、この選択は、利用者が独自の判断で行っていたのが一般的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記従来技術では、個々の利用者ごとに掲示板に関する理解が異なるために、同じ内容の記事であっても、利用者により異なる掲示板に掲載されてしまうという欠点があった。また、利用者に、掲示板選択や登録という煩雑な処理を強いるといった問題や、また、使用経験の少ない利用者等の場合は、どの掲示板へ載せればよいかわからないといった問題もあった。

【0004】 本発明の目的は、電子メールシステムを利用した電子掲示板サービスにおいて、上記従来の問題点を解消し、利用者が掲示板に掲載するメールを送信すれば、電子メールセンタが最適な掲示板へ自動的に掲載してくれる最適掲示板自動選択サービス方式を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明は、電子メールセンタと該電子メールセンタ

に通信網で接続されている複数の利用者端末とからなる電子メールシステムにおいて、電子メールセンタは、利用者からの送信メールを受け付ける手段と、該受け付けたメールの内容を解析し、必要とする情報を抽出してメール内容解析結果蓄積部に格納する手段と、メール内容解析結果をもとに最適な掲示板を選択し、該選択された掲示板へメールを登録する手段と、該選択された掲示板の掲示板名を利用者へ通知する手段とを具備することを特徴とする。

【0006】

【作用】 本発明では、利用者が掲示板に掲載するメールを電子メールセンタへ送信すれば、電子メールセンタでは該メールを最適な掲示板へ自動的に掲載し、その掲示板名を利用者に通知する。したがって、従来のように、最適な掲示板の選択を利用者が独自の判断で行う必要はない。

【0007】

【実施例】 図 1 は、本発明の一実施例のシステム構成図である。図 1 において、電子メールセンタ 100 と利用者端末 300 とは通信網 200 を通して結ばれている。電子メールセンタ 100 はメール受付部 101、メール内容解析部 102、最適掲示板選択部 103、掲示板登録部 104、選択結果送付部 105 などの各処理部と、内容解析用辞書 110、メール内容解析結果蓄積部 120、掲示板選択用辞書 130、掲示板 140 などの情報記憶部に大別される。電子メールセンタ 100 内の各処理部の動作は以下の通りである。

【0008】 メール受付部 101 では、利用者端末 300 からの掲示板に掲載する送信メールを受け付けるとともに、受け付けた個々のメールに対してメール ID を付与する。

【0009】 メール内容解析部 102 では、内容解析用辞書 110 を用いることにより、メール受付部 101 において受け付けたメールから必要とする情報を抽出して、メール内容解析結果蓄積部 120 に「メール ID、メール本体（送信された形のメール）、メール内容解析結果」を対にして格納する。

【0010】 最適掲示板選択部 103 では、メール内容解析部 102 からメール受け付けの度に与えられるか、あるいは一括処理モードでメール内容解析結果蓄積部 120 から取り出すメール内容解析結果をもとに、掲示板選択用辞書 130 を用いて、メールに掲載する最適な掲示板を決定し、当該掲示板名を掲示板登録部 104 へ送る。

【0011】 掲示板登録部 104 では、最適掲示板選択部 103 からの掲示板名にもとづきメール内容解析結果蓄積部 120 のメール本体を最適な掲示板 140 へ登録するとともに、該掲示板名やその他の必要情報（利用者、通信手段等）を選択結果送付部 105 へ送る。

【0012】 選択結果送付部 105 では、利用者からの

送信メールで指定されている通信手段、例えば電話、電子メール、FAX等を用いて、選択した掲示板名を利用者へ通知する。

【0013】次に、具体的動作例について説明する。ここでは、図2に示す送信メールが図3に示す形で最適な掲示板へ掲載される動作例を、図4から図7を用いて説明を行う。

【0014】まず、図2の利用者からの送信メールは、メール内容解析部102を介して図4に示すメール内容解析結果に変換される。

【0015】次に、最適掲示板選択部103では、図4のメール内容解析結果をもとに、掲示板選択用辞書130を用いて、最適な掲示板の掲示板名を決定する。一般に、登録すべき掲示板は階層構造を持っている。このため、最適掲示板名を決定する場合は、上位の階層から1段ずつ決定してゆく。決定の際に参照する掲示板選択用辞書130は、各階層においてそれぞれ異なる。このため、それぞれの掲示板選択用辞書には、ID番号が付与されている。

【0016】まず、一番上位階層の掲示板名を決定する際には、辞書ID=1番の掲示板選択用辞書(図5)を参照する。この辞書(図5)中には、内容解析結果中の項目名=掲示目的に着目することが辞書に記載されている。そこで、図4の内容解析結果の「掲示目的の項目」と図5の掲示板選択用辞書の「掲示板選択の手がかり語」の照合を行うことにより、「一番上位階層の掲示板名=売ります、次に参照すべき掲示板選択用辞書ID=12」を決定する。

【0017】次に、二番目の階層の掲示板名を決定する際には、辞書ID=12番の掲示板選択用辞書(図6)を参照する。この辞書(図6)には、内容解析結果中の項目名=品目に着目することが辞書に記載されている。そこで図4の内容解析結果の「品目の項目」と図6の掲示板選択用辞書の「掲示板選択の手がかり語」の照合を行うことにより、「二番目の階層の掲示板名=衣料、次に参照すべき掲示板選択用辞書ID=125」を決定する。

【0018】以下同様にして、三番目の階層の掲示板名を決定する際には、辞書ID=125番の掲示板選択用辞書(図7)を参照することにより、「三番目の階層の掲示板名=女性用」を決定する。

【0019】本動作例では、3階層の掲示板しか示していないが、登録すべき掲示板の階層の深さに応じて図5以下に示す掲示板選択用辞書を増加すれば、4階層以上の掲示板選択を行うことが明かである。

【0020】また、上記動作例では、送信メールが比較

的定型的フォーマットに近い形で記述された例について述べるが、それ以外の場合についても、例えば、文献

「情報処理学会論文誌 vol. 29 No. 8 pp. 760-769 1988 “見出し情報を用いたテキスト解析と情報抽出”(高松 忍、西田 富士夫)」、
「情報処理学会誌 vol. 30 No. 10 pp. 1258-1267 1989 “要約支援システムCOGIT”(安原 宏、小松 英二他)」に記載されている方法を用いることができる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、電子メールシステムを利用した電子掲示板サービスにおいて、利用者が掲示板に掲載するメールを送信すれば、電子メールセンタでは、このメールから必要とする情報を抽出した結果をもとに、掲示板選択用辞書を用いて最適な掲示板を決定し、最適な掲示板へ自動的に掲載してくれる。したがって、従来のように、同じ内容の記事であっても利用者により異なる掲示板に掲載されてしまう、利用者に掲示板選択や登録という煩雑な処理を強いる、使用経験の少ない利用者等の場合はどの掲示板へ載せればよいかわからない、といった問題点を回避できる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のシステム構成図である。

【図2】掲示板送信メールの一例を示す図である。

【図3】掲示板選択の一例を示す図である。

【図4】メール内容解析結果の一例を示す図である。

【図5】掲示板選択用辞書(辞書ID=1)の一例を示す図である。

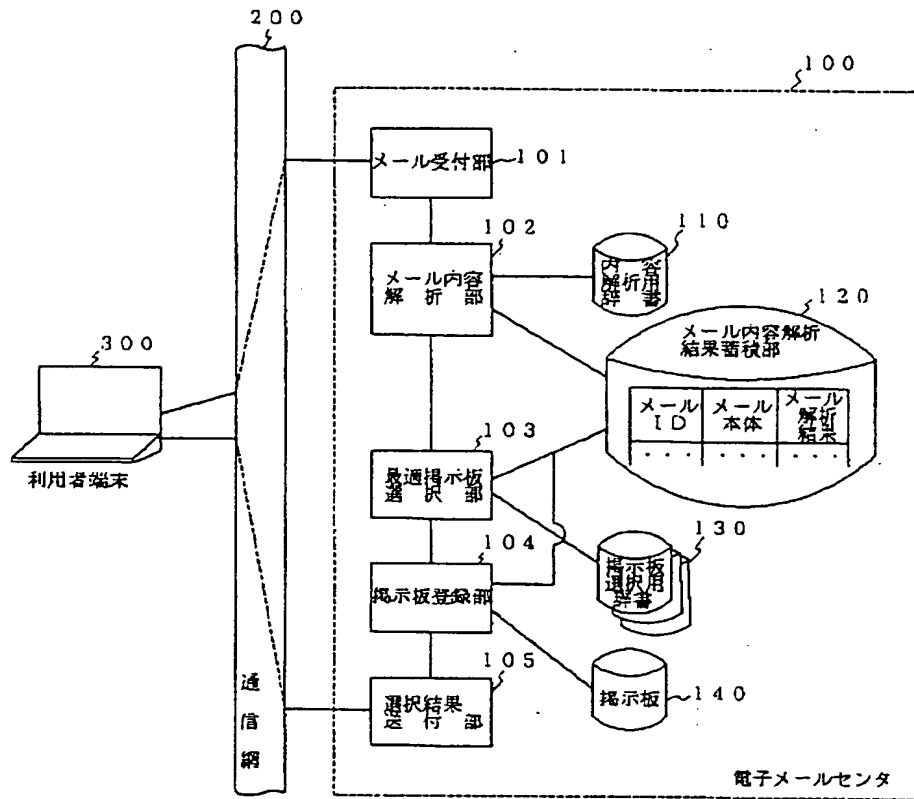
【図6】同じく掲示板選択用辞書(辞書ID=12)の一例を示す図である。

【図7】同じく掲示板選択用辞書(辞書ID=125)の一例を示す図である。

【符号の説明】

100 電子メールセンタ
101 メール受付部
102 メール内容解析部
103 最適掲示板選択部
104 掲示板登録部
105 選択結果送付部
110 内容解析用辞書
120 メール内容解析結果蓄積部
130 掲示板選択用辞書
140 掲示板
200 通信網
300 利用者端末

【図1】



【図2】

掲示板送信メールの例

標題：譲ります。
 品名：ワンピース
 用途：婦人向、夏用。
 値段：2万円
 連絡先：山田洋子(e-mail:youko@oda265.ntt)

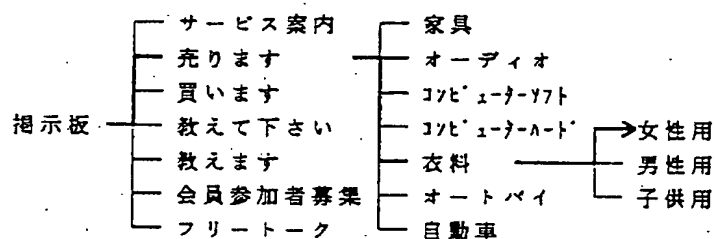
【図4】

メール内容解析結果の例

項目名	内容解析結果
揭示目的	<u>譲ります</u>
品名	<u>ワンピース</u>
用途	<u>婦人向、夏用</u>
値段	2万円
連絡先	山田洋子 youko@oda265.ntt

【図3】

掲示板選択の例



【図5】

掲示板選択用辞書 (辞書ID=1, 着目する項目名=掲示目的)

掲示板名	掲示板選択の手がかり語	下位の掲示板 選択用辞書ID
売ります 買います ・・・	譲ります, 売ります, 値下げ処分, ・・・ 譲って下さい, 買います, 欲しい, ・・・ ・・・	1 2 1 3 ・・・

【図6】

掲示板選択用辞書 (辞書ID=12, 着目する項目名=品名)

掲示板名	掲示板選択の手がかり語	下位の掲示板 選択用辞書ID
衣料 コンピュータアート ・・・	ワット-ス, 衤ナイ, ワイヤ, 古着, ・・・ PC9801, FM-TOWNS, ナイフ, ・・・ ・・・	1 2 5 1 2 4 ・・・

【図 7】

掲示板選択用辞書（辞書 ID = 1 2 5，着目する項目名 = 用途）

掲示板名	掲示板選択の手がかり語	下位の掲示板 選択用辞書 ID
<u>女性用</u>	女性用、 <u>婦人向</u> 、OL 向、...	1 2 5 1
男性用	紳士用、男性向、殿方用、...	1 2 5 2
...

フロントページの続き

(72)発明者 立野 浩司

東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 6 号 日

本電信電話株式会社内